

令和４年度 京都市よしだ福祉工場 事業報告

1. 利用者の状況

1) 利用者の推移

4月は支援学校卒業生を1名迎え利用者26名からスタートした。5月に2名、8月に1名10月に1名と契約し、4年度は合計5名の利用者を受け入れた。反面、行動障害や高齢化や仕事のミスマッチのため3名の利用者が契約を終了し、最終的に27名で4年度を終えた。

(登録人数は月末時)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	26	28	28	28	28	28	29	29	29	29	27	27
増	1	2			1		1					
減					1						2	

2) 利用状況

	開所日数	延利用者数	1日平均利用者数	利用率
令和3年度	242日	5,876人	24.2人	80.75%
令和4年度	243日	6,043人	24.6人	82.89%

2. 4年度の重点実施項目

① 利用者確保と利用率の向上

利用者を27名以上確保し、年間利用率80%以上を目標。

支援学校や就労移行支援事業所など関係機関に働きかけ利用者の定員(30名)確保を目指す。

⇒ 計画していた27名の利用者を確保できた。

昨年度に比べ、延べ利用者数は167名増え、利用率は2%ほど上昇し82.89%であった。
事業収入と利用者数のバランスを取りながら今後も利用者を30名に近づけるよう取り組む。

② 給付費収入及び就労事業収入の向上

利用者のための労働環境や制度を整え、スコア評価130点以上をクリアする。

清掃事業収入を安定確保に向けた取組を行い、利用者の喜びやよしだ福祉工場の魅力の向上をアピールできるようにする。

令和4年度目標の平均賃金60,000円。

⇒ 令和4年度のよしだ福祉工場のスコアは135点であった。
「労働時間:5～6時間=55点／80点」
「生産活動:前々年度の収支のみが黒字=20点／40点」
「多様な働き方:35点／35点」
「支援力向上:25点／35点」
「地域連携活動:0点／10点」
3年度は105点以上130点未満の区分だったが、4年度は130点以上150点未満の区分の基本報酬を得ることができた。
⇒ 新山科浄水場と政策随意契約を結び、安定した収入を増やした
⇒ 平均賃金月額 62,857 円を支給した。

3. 今年度の計画・目標

【利用者・家族】

(1) 工賃向上及び利用者満足度を高める取組

今している仕事に自信を持てるよう、清掃技術の向上のための支援・研修をし、評価をする。
そのために職員の清掃レベルを上げられるよう職員の清掃研修も行う。
より効率的・魅力的な清掃現場の開拓をするため営業活動や職員会議での検討をする。

⇒ 4年度は新山科浄水場の清掃が増え、賃金向上に向けての基盤づくりや個々の技術力向上を図ることができた。
また、定期清掃に職員が関わる機会が増え、定期清掃（ワックスがけや窓ふきなど）の技術を身に付けつつある。

(2) 健康管理・感染症対策

医療連携をし、利用者の健康を管理し成人病の予防を働きかける。異常があった場合は利用者のかかりつけ医と連携し早期の治療につなげる。

夏に健康診断の受診をする。

感染症対策としては控室の換気・消毒・昼食を時差で取るなどを引き続き行う。

⇒ エクモという事業所に委託し医療連携を実施した。
週に2回程度看護師が現場を訪問し、バイタルチェックや中年や肥満でリスクがある人は血糖値の検査もしている。
健康診断も実施した。
感染症対策の結果、大きく感染が広がることなく事業が継続できた。

(3) 家族との交流と連携

年3回の家族の会を実施し、現在の状況の説明や今後の方針の説明を行う。家族の要望の聞き取りを行う。

連絡帳で日々の情報交換を行う。

⇒ 4年度の家族会は5月と11月の2回であった。
連絡帳で日々の情報交換を行っている。

【職員】

(1) 人材育成・研修計画

年に1回以上の研修会への参加とサポーターズカレッジを定期的に受講する。

⇒ 初任者研修や中堅職員研修、相談支援研修などを受講した。
非常勤職員はサポーターズカレッジを利用し、虐待防止研修を受講してもらった。

(2) 人材確保（インターンシップや実習含む）と定着への取組

職員会議で意見を集約し施設長会で共有する。

(3) 健康管理・職場環境の整備

夏に職員の健康診断の受診をする。

ストレスチェックを実施する。

【地域社会】

(1) 協力事業

清掃現場の周辺地域で清掃できるのであれば清掃に取り組む。

⇒ 公共性の高い現場で清掃しており、地域に貢献していると思われる。
また、清掃現場の周辺の清掃できる場所を取り組み、地域との連携を意識した。

(2) 交流事業

11月3日にkokokaで実施されているオープンデイに参加。企画した景品の提供と出店を行う。

⇒ 4年度もKokokaオープンデイの景品作成に携わり、また出店もすることで交流を深めた。

(3) 広報活動

インスタグラムにて日々の様子を発信予定。

⇒ 実施できていない。
本人と家族に写真に撮ったものを公表してよいかのアンケートはとったが、それ以上は進められていない。
人材確保のためにも日常の様子の発信の必要性は感じており、引き続き進めたいと考えている。

経営・組織

(1) リスクマネジメント

虐待防止会議を虐待防止委員会で毎月実施。

苦情解決 研修に苦情解決担当者が参加

⇒ 毎月の会議を実施しており、虐待につながる可能性を検討している。
大きな苦情はないが、日々の連絡帳のやり取りの中で早期に対応していることが現状につながっていると考えている。

(2) 防災・防犯

年に2回、各現場で避難訓練を実施。防犯も想定して避難を検討する。

⇒ 各現場で年に1～2回避難訓練を実施し、報告書を提出している。

(3) 設備購入・修繕計画

定期清掃（ワックスがけや絨毯の清掃）のための機材の購入

⇒ 寄付してもらった機械があったため、4年度は購入しなかった。

4. 職員体制等（基準となる人員と職員の役割明確化）

京都市よしだ福祉工場（常勤換算での配置基準）

サービス	就労継続支援A型（常勤換算）	
管理者兼サービス管理責任者	1名	
職業指導員	1名	常勤1名
生活支援員	8名	常勤4名＋非常勤8名
事務員	1名	非常勤1名

⇒ 9月末に正職員が1名西寺育成苑へ異動した。

非常勤の採用で人員を補充しており、採用した人はほとんど定着している。しかし年齢が高い人が多いことが課題である。

清掃作業利用者出向計画

出向先	作業内容	配置人数	
		職員	利用者
ハートピア京都	館内清掃（4F～8F、B2）	1	4
Kokoka 京都市国際交流会館	外周清掃	1	3
京都大学構内	館内清掃（一部）	1	7
下京区総合庁舎	館内清掃	1	3
京都テルサ	館内清掃（バックヤード）	1	5
新山科浄水場（新現場）	管理棟清掃	1	3
桃山学園	館内清掃	1	2

⇒ 清掃現場が増えたため事業収入は116.89%上がり、昨年度から3,845,641円の増額となった。しかし、利用者も増えたため事業収支は－645,590円であった。

新型コロナウイルス感染症に関する情報提供
報告した陽性者(令和4年4月1日～3月31日)

報告番号	年月日	よしだ学園		よしだ福祉工場		西寺育成苑 デイサービス		西寺育成苑 多機能型		法人内 職 員
		利用者	職 員	利用者	職 員	利用者	職 員	利用者	職 員	管理職
第1報	4月4日							1		
第2報	4月12日					1				
第3報	4月15日							1		
第4報	5月12日						1			
第5報	7月6日								1	
第6報	7月7日								1	
第7報	7月8日							2		
第8報	7月14日								1	
第9報	7月15日					1				
第10報	7月25日		1							
第11報	8月6日		1							
第12報	8月8日	1								
第13報	8月8日							1		
第14報	8月11日								1	
第15報	8月13日					1				
第16報	8月18日		1							
第17報	8月18日							1		
第18報	8月24日							2		
第19報	8月31日			1						
第20報	9月7日					1				
第21報	10月21日			4						
第22報	10月25日					1				
第23報	10月27日					1	1			
第24報	10月31日					3	1	6		
第25報	11月1日					1		2	1	
第26報	11月2日			1						
第27報	11月3日							1		1
第28報	11月4日							2		
第29報	11月8日							1		
第30報	11月29日				1					
第31報	12月1日		1							
第32報	12月6日			1						
第33報	12月12日			1						
第34報	12月23日				1					
第35報	12月26日								3	
第36報	12月26日				1					
第37報	1月4日	1								
第38報	1月16日	1								
第39報	2月2日				1					
第40報	2月6日									1
第41報	2月24日	1								
第42報	2月28日	1	1							
第43報	3月2日	1								
第44報	3月3日	1								
第45報	3月6日		1							
		7	6	8	4	10	3	20	8	2

合計
68

京都市よしだ福祉工場拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	就労支援事業収入	26,610,000	26,609,063	937	
	下請事業収入	1,000	1,000	1,000	
	清掃事業収入	26,609,000	26,609,063	△ 63	
	障害福祉サービス等事業収入	51,554,000	51,912,839	△ 358,839	
	自立支援給付費収入	50,410,000	50,768,734	△ 358,734	
	訓練等給付費収入	50,410,000	50,768,734	△ 358,734	給付費3月分見込より増
	その他の事業収入	1,144,000	1,144,105	△ 105	
	補助金事業収入(公費)	1,144,000	1,144,105	△ 105	
	経常経費寄附金収入	30,000	30,000	0	
	受取利息配当金収入	1,000	341	659	
	その他の収入	7,040,000	7,072,856	△ 32,856	
	受入研修費収入	48,000	80,000	△ 32,000	
	雑収入	6,992,000	6,992,856	△ 856	
	事業活動収入計(1)	85,235,000	85,625,099	△ 390,099	
事業活動による収支	人件費支出	47,622,000	47,790,889	△ 168,889	
	職員給料支出	24,716,000	24,772,144	△ 56,144	
	職員賞与支出	6,826,000	6,826,100	△ 100	
	非常勤職員給与支出	9,137,000	9,165,643	△ 28,643	
	退職給付支出	1,530,000	1,540,580	△ 10,580	
	法定福利費支出	5,413,000	5,486,422	△ 73,422	
	事業費支出	309,000	274,296	34,704	
	保健衛生費支出	190,000	200,419	△ 10,419	
	被服費支出	16,000	21,956	△ 5,956	
	教養娯楽費支出	28,000		28,000	
	消耗器具備品費支出	50,000	38,503	11,497	
	車両費支出	25,000	13,418	11,582	
	事務費支出	8,822,000	9,127,115	△ 305,115	
	福利厚生費支出	168,000	201,280	△ 33,280	
	職員被服費支出	30,000	31,680	△ 1,680	
	旅費交通費支出	50,000	43,290	6,710	
	研修研究費支出	50,000	33,130	16,870	
	事務消耗品費支出	210,000	197,473	12,527	
	印刷製本費支出	40,000	40,207	△ 207	
	水道光熱費支出	98,000	97,920	80	
	燃料費支出	20,000	9,591	10,409	
	修繕費支出	5,000	1,925	3,075	
	通信運搬費支出	364,000	435,188	△ 71,188	
	広報費支出	198,000	198,000	0	
	業務委託費支出	7,249,000	7,489,092	△ 240,092	医療連携業務委託費増
	手数料支出	56,000	62,954	△ 6,954	
	保険料支出	40,000	37,013	2,987	
	賃借料支出	186,000	186,072	△ 72	
	租税公課支出	2,000	4,400	△ 2,400	
	諸会費支出	55,000	52,900	2,100	
	雑支出	1,000	5,000	△ 4,000	

		就労支援事業支出	27,235,000	27,254,893	△ 19,893
		就労支援事業販売原価支出	27,235,000	27,254,893	△ 19,893
		就労支援事業製造原価支出	27,235,000	27,254,893	△ 19,893
		事業活動支出計(2)	83,988,000	84,447,193	△ 459,193
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		1,247,000	1,177,906	69,094
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)			
	支出	固定資産取得支出	176,000	176,000	0
		ソフトウェア取得支出	176,000	176,000	0
		施設整備等支出計(5)	176,000	176,000	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 176,000	△ 176,000	0
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	2,000,000	2,000,000	0
		人件費積立資産取崩収入	2,000,000	2,000,000	0
		その他の活動収入計(7)	2,000,000	2,000,000	0
	支出	拠点区分間繰入金支出	2,704,000	2,704,000	0
		その他の活動支出計(8)	2,704,000	2,704,000	0
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 704,000	△ 704,000	0
予備費支出(10)			—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		367,000	297,906	69,094	

前期末支払資金残高(12)	18,472,526	18,472,526	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	18,839,526	18,770,432	69,094

京都市よしだ福祉工場拠点区分 事業活動計算書(指定管理業務のみ)

(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	就労支援事業収益	26,609,063	22,763,422	3,845,641
	下請事業収益		1,250	△ 1,250
	清掃事業収益	26,609,063	22,762,172	3,846,891
	障害福祉サービス等事業収益	51,912,839	41,291,510	10,621,329
	自立支援給付費収益	50,768,734	40,714,510	10,054,224
	訓練等給付費収益	50,768,734	40,714,510	10,054,224
	その他の事業収益	1,144,105	577,000	567,105
	補助金事業収益(公費)	1,144,105	577,000	567,105
	経常経費寄附金収益	30,000		30,000
	サービス活動収益計(1)	78,551,902	64,054,932	14,496,970
サービス活動増減の部	費用			
	人件費	47,990,889	42,529,526	5,461,363
	職員給料	24,772,144	22,139,522	2,632,622
	職員賞与	4,526,100	3,970,224	555,876
	賞与引当金繰入	2,500,000	2,300,000	200,000
	非常勤職員給与	9,165,643	7,843,734	1,321,909
	退職給付費用	1,540,580	1,341,952	198,628
	法定福利費	5,486,422	4,934,094	552,328
	事業費	274,296	617,463	△ 343,167
	保健衛生費	200,419	205,535	△ 5,116
	被服費	21,956	164,747	△ 142,791
	消耗器具備品費	38,503	231,948	△ 193,445
	車輛費	13,418	15,233	△ 1,815
	事務費	9,088,375	3,019,699	6,068,676
	福利厚生費	162,540	178,200	△ 15,660
	職員被服費	31,680	22,270	9,410
	旅費交通費	43,290	17,530	25,760
	研修研究費	33,130	62,210	△ 29,080
	事務消耗品費	197,473	84,600	112,873
	印刷製本費	40,207	37,288	2,919
	水道光熱費	97,920	97,920	0
	燃料費	9,591	13,494	△ 3,903
	修繕費	1,925		1,925
	通信運搬費	435,188	430,597	4,591
	広報費	198,000	11,000	187,000
	業務委託費	7,489,092	1,722,392	5,766,700
	手数料	62,954	45,846	17,108
	保険料	37,013	35,740	1,273
	賃借料	186,072	186,072	0
	租税公課	4,400	4,350	50
	諸会費	52,900	54,900	△ 2,000
	雑費	5,000	15,290	△ 10,290
	就労支援事業費用	27,254,893	24,208,447	3,046,446
	就労支援事業販売原価	27,254,893	24,208,447	3,046,446
	当期就労支援事業製造原価	27,254,893	24,208,447	3,046,446
	減価償却費	247,495	212,295	35,200
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 28,863	△ 28,863	0
	サービス活動費用計(2)	84,827,085	70,558,567	14,268,518
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 6,275,183	△ 6,503,635	228,452

サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	341	263	78
		その他のサービス活動外収益	7,072,856	7,024,252	48,604
		受入研修費収益	80,000	96,000	△ 16,000
		雑収益	6,992,856	6,928,252	64,604
	サービス活動外収益計(4)		7,073,197	7,024,515	48,682
	費用				
サービス活動外費用計(5)					
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	7,073,197	7,024,515	48,682
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	798,014	520,880	277,134
特別増減の部	収益				
		特別収益計(8)			
	費用	拠点区分間繰入金費用	2,704,000	2,400,000	304,000
		拠点区分間固定資産移管費用	1		1
		特別費用計(9)		2,704,001	2,400,000
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2,704,001	△ 2,400,000	△ 304,001
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 1,905,987	△ 1,879,120	△ 26,867
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		16,852,328	16,568,428	283,900
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		14,946,341	14,689,308	257,033
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)		2,000,000	2,200,000	△ 200,000
	人件費積立金取崩額		2,000,000	2,200,000	△ 200,000
	その他の積立金積立額(16)				
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		16,946,341	16,889,308	57,033